



ケ-ヨー-ディツ-



平成29年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年7月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケ-ヨー-

コード番号 8168

URL <http://www.keiyo.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)醍醐 茂夫

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役社長室長

(氏名)実川 浩司

(TEL) 043-255-1111

兼財務・コンプライアンス担当

四半期報告書提出予定日 平成28年7月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第1四半期の業績（平成28年3月1日～平成28年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	39,494	△5.1	621	220.8	847	98.4	474	—
28年2月期第1四半期	41,620	△14.0	193	△83.2	427	△69.1	△83	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第1四半期	9.02	—
28年2月期第1四半期	△1.59	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第1四半期	92,150	—	33,477	—	33,477	36.3
28年2月期	86,809	—	32,794	—	32,794	37.8

(参考) 自己資本 29年2月期第1四半期 33,477百万円 28年2月期 32,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	6.25	—	6.25	12.50
29年2月期	—	—	—	—	—
29年2月期(予想)	—	6.25	—	6.25	12.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年2月期の業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	80,400	△2.2	950	53.4	1,350	22.9	450	—	8.56
通期	153,800	△2.5	650	306.0	1,550	38.5	400	—	7.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期1Q	59,476,284株	28年2月期	59,476,284株
② 期末自己株式数	29年2月期1Q	6,903,527株	28年2月期	6,903,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期1Q	52,572,894株	28年2月期1Q	52,573,632株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成28年3月1日～平成28年5月31日）におけるわが国経済は、政府の経済対策等を背景に企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移していましたが、新興国経済の減速懸念や原油安等の影響から、円高・株安が進み、個人消費にも足踏みがみられ、先行きは不透明な状況が続いております。小売業界におきましても、雇用・所得環境の改善が個人消費に直結せず、さらに、業態間、企業間の品揃え、価格競争も一層激しさを増している中、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっております。

そうした中、当社におきましては、平成33年2月期を目標到達年度とする中期経営計画に沿って、既存店の抜本的な改善策として、商圈環境や規模に合った品揃えを構築し、坪当り売上高の改善を図りながら、かつ荒利益を重視する戦略をとってまいりました。また、折込チラシやテレビCMなど広告宣伝費の見直しを行い、販売促進費の効率化を図りながら、「ゴールデンウィークセール」や「創業64周年セール」等による集客も引き続き行ってまいりました。

販売拠点の強化につきましては、3月に宮野木店（千葉県千葉市）、柏の葉公園店（千葉県柏市）の2店舗を出店したほか、矢野目店（福島県）、塩山店（山梨県）の2店舗の全面改装を実施し、既存店の活性化を図ってまいりました。

なお、5月に東鷲宮店（埼玉県久喜市）を閉店いたしました。

以上のような取り組みの結果、当第1四半期累計期間の業績は、

売上高	394億94百万円	（前年同四半期比	5.1%減）
営業利益	6億21百万円	（前年同四半期比	220.8%増）
経常利益	8億47百万円	（前年同四半期比	98.4%増）
四半期純利益	4億74百万円	（前年同四半期は、83百万円の四半期純損失）	

となりました。

荒利益率の改善、販売費及び一般管理費の削減の効果もあり営業利益の改善をすることができましたが、売上高が前年を下回る結果となりました。今後は、売上高と荒利益率のバランスを取りながら業績改善を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は921億50百万円となり、前事業年度末に比較し53億41百万円増加いたしました。主な要因は商品24億99百万円、現金及び預金16億87百万円、投資有価証券6億13百万円の増加などによるものです。

負債合計は586億73百万円となり、前事業年度末に比較し46億58百万円増加いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金58億53百万円の増加と、短期借入金24億72百万円の純減などによるものです。

純資産合計は334億77百万円となり、前事業年度末に比較し6億83百万円増加いたしました。主な要因はその他有価証券評価差額金4億84百万円の増加、四半期純利益4億74百万円の計上、剰余金の配当3億28百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の業績予想につきましては、「平成28年2月期 決算短信（非連結）」（平成28年4月5日付）にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を適用し、当第1四半期会計期間より、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物の減価償却方法について、定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,564	3,251
受取手形及び売掛金	961	1,398
商品	33,607	36,106
その他	4,086	3,746
流動資産合計	40,219	44,503
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,136	23,487
土地	10,189	10,606
その他	13,080	13,017
減価償却累計額	△26,218	△26,285
有形固定資産合計	20,188	20,826
無形固定資産		
1,452	1,452	1,938
投資その他の資産		
投資有価証券	10,759	11,373
差入保証金	12,168	11,799
その他	2,541	2,194
貸倒引当金	△433	△400
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	24,949	24,881
固定資産合計	46,589	47,647
資産合計	86,809	92,150

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,053	20,906
短期借入金	2,472	-
1年内返済予定の長期借入金	5,310	5,960
未払法人税等	163	410
店舗閉鎖損失引当金	380	279
資産除去債務	22	22
その他	4,186	4,719
流動負債合計	27,589	32,299
固定負債		
長期借入金	20,052	19,771
退職給付引当金	4,177	4,206
役員退職慰労引当金	4	4
資産除去債務	576	579
その他	1,615	1,813
固定負債合計	26,425	26,374
負債合計	54,014	58,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,948	14,948
資本剰余金	12,595	12,595
利益剰余金	6,977	7,122
自己株式	△3,996	△3,996
株主資本合計	30,524	30,669
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,413	2,898
繰延ヘッジ損益	△143	△91
評価・換算差額等合計	2,270	2,807
純資産合計	32,794	33,477
負債純資産合計	86,809	92,150

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)
売上高	41,620	39,494
売上原価	30,335	28,239
売上総利益	11,285	11,255
販売費及び一般管理費	11,091	10,634
営業利益	193	621
営業外収益		
受取利息	26	21
受取配当金	66	66
受取賃貸料	329	283
その他	179	176
営業外収益合計	601	549
営業外費用		
支払利息	62	64
賃貸収入原価	281	233
その他	24	24
営業外費用合計	367	322
経常利益	427	847
特別利益		
固定資産売却益	0	-
受取保険金	-	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	32	2
店舗閉鎖損失	-	12
その他	4	5
特別損失合計	36	20
税引前四半期純利益	391	827
法人税、住民税及び事業税	185	348
法人税等調整額	289	4
法人税等合計	474	353
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△83	474

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。